

ご神示 習慣化チェックリスト

立てるたびに確認 天威咫尺実践哲学研究会

詳細は「ご神示参考資料」を参照

立てる前【外的条件の確認】～問う内容は適切か～

一般常識・規則・社会のルールを先に優先したか？

他人の助言、指導者の言、親の言いつけを先に考えてから問うこと

法律・既存の規則に反する内容ではないか？

法律違反・禁止行為の是非をご神示で問うことは禁止

禁止行為（下記）に該当しないか確認した

賭け事・投機／喧嘩に勝つ目的／不正利得・買占め／犯罪行為の実行方法

当て物・遊び心で問おうとしていないか？

「くじを当てたい」「物を探したい」だけの目的ではないか

不必要に遠い将来のことを問おうとしていないか？

必要な予定・計画以外の何年も先のことを問うても良い結果は得られない

立てる前【心の準備】～自分の心を点検する～

「試してみよう」という神佛を試す気持ちはないか？

「ちょっと聞いてみようか」という軽い気持ちで立てない

「何でも問えばいい」という安易さはないか？

情報不足・相談不足・独断のまま問わない。人間の思慮を尽くした上で立てる

自我・我知・我計・我欲が先行していないか？

「私がしなくては」「私の考えが正しい」「私の思い通りに」「私の利益・面子」が強くないか

自分で先に結論を決めているか？（人間の思慮は尽くしたか）

自分で決めないままご神示は立てられない。まず人間として考え抜いてから問う

神佛の判断にどんな結果でも従う覚悟があるか？

「ノー」が出ても従える、結果に執着しない、自分で状況を動かそうとしない

形而上と形而下を両立して考えているか？

精神的な側面と現実的な側面、両方の視点で問いを立てているか

第一ボタンを掛け違えていないか？

問う順番が正しいか。最初の問いが間違えると全体がずれる

立てるとき【行為中の注意】～正しく立てているか～

最初に問うた事柄を忘れていないか？

問いの内容・順番を頭に入れた上で立てること

二度立てしようとしていないか？

一度頂いたご指示を「再確認」のために同じ内容を問い直すのは禁止。状況が変わった場合は除く

「イエス」になるまで何度も立て直していないか？

「ノー」が出ても自分の都合で立て直すのは、神佛を自分に従わせようとする行為

ご神示を私物化・独占しようとしていないか？

ご神示はさとりが目的であり、自分だけの都合のためのものではない

立てた後【結果への向き合い方】～ご指示に従い行動する～

頂いたご指示を信じ、従う覚悟があるか？

初めに頂いたご指示が正しい。神佛は瞬時に判断され、間違いはない

結果を軽く考えず、真剣に受け止めているか？

命がけの真剣さで受け止めること

「ノー」の意味をさとうとしてしているか？

「映画に行くな」ではなく「火の安全」など、別の意味・合図がないか検証する

途中であきらめず、ご指示に沿って行動し続けているか？

失敗しても新たな気持ちで。ご指示を信じて行動を続けることが最終的な善につながる

ご神示の目的（神佛のご意図）

- 一 「当たる」より「最終的に救われる」ことが目的
- 二 「個人の利益」より「全体の利益」が優先される
- 三 「無駄・無理の排除（能率増進）」が目的
- 四 社会全体の調和・発展のために動かされている

ご神示を頂いて行動すると（段階的变化）

第一段階 ご指示に従って行動する（柔順）

第二段階 事がはまって来る・物事が的確に運ぶ（適法）

第三段階 自利から利他の行動へ（菩提心）

第四段階 自他の存在意義・使命を知る

第五段階 六識の観応で他を救う化他に到達